

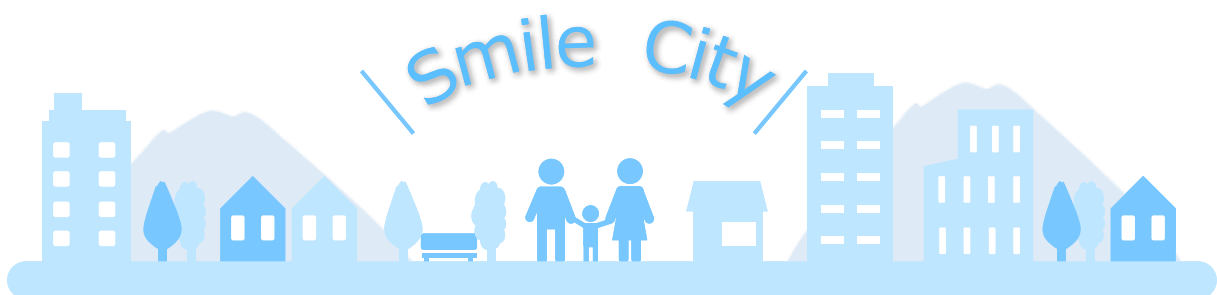
## 第3章

# 都市基盤

～快適で潤いある暮らしができるまち～

### 基本施策

- |    |                       |     |
|----|-----------------------|-----|
| 16 | 住環境の確保.....           | 114 |
| 17 | 公園・緑地の整備・保全.....      | 116 |
| 18 | 水道の安定供給と汚水処理の充実 ..... | 118 |
| 19 | 道路・交通網及び港湾施設の充実 ..... | 122 |
| 20 | 適正な土地利用の推進 .....      | 126 |



基本施策

16

# 住環境の確保

あるべき姿

住宅整備の支援や公営住宅の管理が適正に行われ、多様な世代、世帯が将来にわたって安心して住み続けられる住環境が保たれています。

現状と課題

- 近い将来、南海トラフ地震の発生が懸念されています。大きな地震が発生すれば、生命や財産が損なわれることも想定されます。一方で現行耐震基準を満たさない建築物が存在しています。
- 長寿命化計画に基づき市営住宅の改修を行っていますが、まだ十分ではありません。維持管理に必要な経費も増加しています。また、入居者の高齢化も進み、居住水準が十分でない市営住宅があります。

4年間の目標

- 民間建築物の耐震診断及び耐震改修の促進
- 建築物所有者への耐震化に関する情報提供
- 市営住宅の長寿命化に向けた予防保全<sup>\*</sup>的な修繕及び耐久性を高める工事の計画的な実施
- 居住水準の向上による居住の安定確保

目標指標

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
木造住宅の耐震化率	建築基準法現行耐震基準に適合している木造住宅の割合	85.4%	93.0%

# 基 本 事 業

## (1) 住宅整備の支援

山陽小野田市耐震改修促進化計画等に基づき、住宅所有者の経済的な負担を軽減する補助制度を継続するとともに、広報紙や市公式 SNS\*等を活用し、制度の普及啓発に努めます。また、県等と連携して改修事業に対する説明会を開催します。

### 【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
耐震化促進件数	民間木造住宅の年間耐震診断件数	11 件	20 件
	民間木造住宅の年間改修件数	1 件	1 件

### 主要事業

- 住宅・建築物耐震化促進事業

## (2) 市営住宅の適正管理

日常的な保守点検、経常的な修繕等、適正管理に努めながら、建物・設備の老朽化の状況を踏まえ、計画的に工事を実施します。事業量の平準化、予防保全\*的な修繕によるライフサイクルコスト\*の縮減、耐久性を高める効果的な工法を選択する等、整備に要する費用の抑制に努めます。

### 【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
改修棟数	延べ改修棟数	18 棟	28 棟

### 主要事業

- 市営住宅維持管理事業
- 市営住宅解体・建替事業
- 市営住宅長寿命化事業

## 関連する個別計画

- 山陽小野田市営住宅長寿命化計画（令和4年度～令和13年度）
- 山陽小野田市耐震改修促進計画（令和元年度～）
- 山陽小野田市国土強靱化地域計画（令和8年度～令和12年度）

基本施策

17

# 公園・緑地の整備・保全

あるべき姿

都市公園の維持管理については、効果的な管理運営が行われているとともに、今ある資源や地域特性を活かした公園の整備を行うことにより、様々な年齢層の人々が公園を利用しています。また、緑化推進協議会等の活動を通じ、緑化意識の高揚を図りながら、市民・行政・企業が一体となって、地域が必要とする緑を整備・保全することにより、快適で豊かな生活環境が実現しています。

現状と課題

- 公園施設が老朽化しており、維持管理費及び施設更新費が増大しています。
- 緑化に関する関心が薄れつつあるため、市街地の緑地が減少することが予測されます。
- 巨大化した街路樹は舗装の浮き上がりや落ち葉による側溝の詰まりを引き起こすことから、安全な歩行空間を保つための適切な維持管理が必要です。

4年間の目標

- 利用頻度や安全性を考慮した計画的な施設更新
- 地域特性を活かした環境教育や緑化活動の実施
- 安全で快適な歩行空間と調和した都市緑化の維持に向けた街路樹管理の検討・実施

目標指標

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
「公園施設が充実している」と回答した市民の割合	総合計画策定に係る市民アンケート	51.4 点	60.0 点

## 基本事業

### (1) 都市公園の整備と管理

都市公園の維持管理と充実を図るため、地域を主体とした連携を積極的に推進し、利用者の安全性や快適性の向上に努めます。

#### 【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
江汐公園利用者数	年間利用者数	123,592 人	124,000 人

#### 主要事業

■都市公園維持管理事業

■都市公園施設整備事業

### (2) 緑化の推進と保全

緑化推進協議会等の活動を通して、緑化意識の高揚を図りながら、市民・行政・企業が一体となって、公園や街路等の緑化推進を図ります。

#### 【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
緑化推進協議会会員数	—	個人 13,222 人 事業所 126 件	個人 13,300 人 事業所 130 件

#### 主要事業

■緑地保全事業

■街路樹管理事業

■都市緑化推進事業

### 関連する個別計画

- 山陽小野田市国土強靱化地域計画（令和8年度～令和12年度）

基本施策

18

# 水道の安定供給と 汚水処理の充実

## あるべき姿

水道事業の運営基盤強化を図り、安全・強靱・持続できる水道システムを構築することで、安全で安心な水の供給が安定的に行われています。公共下水道は、全体計画区域内については整備率95%を達成し、全体計画区域外については合併処理浄化槽<sup>\*</sup>の普及促進と単独処理浄化槽の合併転換により、汚水処理人口普及率が向上しています。また、公共下水道及び農業集落排水については適切かつ効率的な施設の維持管理・更新により施設の長寿命化が図られています。

## 現状と課題

- 水源から給水栓までの統合的な水質管理体制の整備が必要です。
- 水道の安定供給のため大量に布設した水道管の老朽化が更に進み漏水事故が発生しています。
- 災害時における飲料水の確保についても喫緊の課題となっています。
- 人口減少や節水社会が進み、更なる有収水量<sup>\*</sup>の減少による水道料金収益の減少が予測されています。
- 公共下水道施設の老朽化に伴い、計画的に改築更新する必要があります。
- 公共下水道の概成に伴い、合併処理浄化槽<sup>\*</sup>の普及促進が必要です。

## 4年間の目標

- 水質検査機器の運用の計画的な実施
- 広域連携による検査体制の維持
- DX<sup>\*</sup>等を活用した計画的で効率的な水道施設の更新
- 災害に強い施設の構築と、給水拠点の整備
- 施設の最適化による維持管理・更新費用の削減及び平準化
- 収入の確保
- 下水道施設の計画的な更新
- 合併処理浄化槽<sup>\*</sup>設置による汚水処理人口普及率の向上

目標指標

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
有収率	年間有収水量 <sup>※</sup> /年間配水量 ×100	83.6%	83.6%
汚水処理人口普及率	公共下水道、農業集落排水、 合併浄化槽 <sup>※</sup> の普及状況調査	86.7%	88.6%

基本事業

(1) 安全で安心な水の供給

安全な水道水の給水を確保するため、水質検査計画に基づき、適正な水質検査を行います。また、水源を同じとする宇部市と共同で水質検査を行うことで、迅速で効率的な水質検査体制を構築するとともに、新たな水質リスクへの対応について早期に検討を行います。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
水質基準不適合率	水質検査回数に対し、水質 基準を超えた回数の割合	0.0%	0.0%

主要事業

■ 水道施設整備事業

■ 水源・水道水質管理体制強化事業

## (2) 災害に強い強<sup>じん</sup>靱な水道の構築

自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合でも迅速に復旧できる水道施設の更新を進めるため、老朽化した水道管の更新を進めるとともに、人口減少社会にも対応した施設更新計画の策定を行います。また、大規模災害が発生した場合を想定した、給水拠点への施設整備を行います。

### 【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
水道管路耐震化率	管路総延長に占める耐震管の延長	25.1%	30.5%
配水池耐震化率	配水池の総容量に占める耐震対策の施されている容量	14.7%	49.5%

### 主要事業

■ 管路耐震化事業

## (3) 水道事業運営の持続

人口や有収水量<sup>※</sup>の減少が予測される中、健全かつ安定的な事業運営のため、水道料金をはじめとする財源確保の検討や、人口減少社会に対応した施設の構築、事業の効率化を目指した広域化の検討を行います。

### 【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
給水収益に対する企業債残高 <sup>※</sup>	料金収入に対する借入金残高の割合	334.3%	350.0%

### 主要事業

■ 市民サービス向上事業

■ デジタル化推進事業

#### (4) 下水道の整備と管理

ストックマネジメント計画<sup>※</sup>に基づき、計画的に下水道処理施設を更新していきます。また、予定にない機器が故障する場合がありますため、機器全体を注視しながら改築更新していきます。

##### 【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
下水道施設改築箇所数	ストックマネジメント計画 <sup>※</sup> により改築予定 140 か所のうち、改築済みの箇所数	26 か所	32 か所

##### 主要事業

■ 公共下水道整備事業

■ 公共下水道維持管理事業

#### (5) 合併浄化槽<sup>※</sup>の整備

従来からの公共下水道全体計画区域外における合併処理浄化槽<sup>※</sup>設置に対する補助や汲み取り、単独処理浄化槽からの転換補助に加え、令和4年度末に実施した公共下水道全体計画区域の縮小に伴い、計画区域から外れた区域に対する補助金額の上乗せを行い、合併処理浄化槽<sup>※</sup>の整備を促進します。

##### 【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
汚水処理人口普及率	公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽 <sup>※</sup> の普及状況調査	86.7%	88.6%

##### 主要事業

■ 浄化槽整備推進事業

#### 関連する個別計画

- 第二次山陽小野田市水道事業等総合計画（平成30年度～令和11年度）
- 山陽小野田市公共下水道事業計画（令和5年度～令和9年度）
- 山陽小野田市下水道ストックマネジメント計画（令和7年度～令和11年度）
- 山陽小野田市汚水処理施設整備構想（平成28年度～令和22年度）
- 山陽小野田市一般廃棄物処理基本計画（令和2年度～令和16年度）
- 山陽小野田市国土強靱化地域計画（令和8年度～令和12年度）

基本施策

19

# 道路・交通網及び 港湾施設の充実

あるべき姿

広域道路網の効率的な整備により、地域間の連携強化が促進され、近隣都市との一体的な発展が図られています。また、計画的な道路整備や長寿命化がもたらすライフサイクルコスト<sup>\*</sup>の効率化により、通行時の安全性や利便性の向上及び維持管理における効率性の向上が図られています。あわせて、高齢化社会等に配慮した公共交通体系を確立するとともに、それに附帯する駅前駐車場・駐輪場を整備することで、利用環境の向上や持続可能な地域公共交通網の構築が図られています。加えて、重要港湾である小野田港は、利用促進により地域経済の発展に寄与するとともに、大規模災害時の輸送拠点として活用されています。

現状と課題

- 道路や橋梁<sup>りょう</sup>の老朽化により維持管理費や更新費の増大が見込まれます。
- 利用者の安全性や利便性の向上のため未改良の市道の整備が望まれています。
- 運転士不足等の影響もあり、路線バス、鉄道、デマンド型交通<sup>\*</sup>等の利用者が減少し、公共交通機関の維持が課題となっています。
- 駅周辺の駐車場不足が利便性の低下を招き、さらに放置自転車やゴミの問題が美観を損なうことで、駅の利用促進に支障となっています。
- 広域道路網の整備を促進し、慢性的な渋滞の緩和が必要です。
- 港湾施設の老朽化や航路泊地の土砂堆積について利用者から改善を求められています。

4年間の目標

- 計画的かつ効率的な長寿命化の推進と効率化による維持管理・更新費の削減や平準化
- 優先度の見極めと効率的な整備の推進
- 交通事業者との連携強化による公共交通の利便性向上
- 地域需要に対応した交通モードの検討
- 持続可能な公共交通の実現に向けた検討
- 公共交通機関の附帯施設である駅前広場や駐車場・駐輪場の適切な維持管理
- 広域道路網整備に係る関係機関への要望
- 港湾管理者と連携した港湾施設の長寿命化や機能強化の実施

目標指標

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
市道改良率	市道実延長における道路改良済延長の比率	59.1%	60.5%
公共交通利用者数	JR・バス・タクシー・デマンド型交通※等の年間利用者数	2,118,340 人	2,202,000 人

基本事業

(1) 道路網の整備

個別施設計画を整備することにより、補修の優先順位を定め維持管理・更新費の削減や平準化を図り効率的な道路施設の整備を推進します。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
橋梁補修数	橋梁点検でIV(緊急措置)判定の橋梁に対する補修完了延べ数	2 橋	3 橋

主要事業

■ 道路新設改良事業

■ 橋梁修繕保全事業

## (2) 持続可能な地域公共交通網の形成

交通機関の円滑な運営や公共交通の利活用に向けた各種支援策の実践を通じて、地域公共交通の利用促進を図ります。

### 【評価指標】

指標	説明	現状値	目標値 (令和11年度)
バス利用者数	市内を運行する路線バス、コミュニティバス※の年間利用者数	(令和6年度) 714,780 人	770,000 人
JR利用者数	市内 JR 各駅の年間利用者数	(令和5年度) 1,202,215 人	1,390,000 人

### 主要事業

■ 地域交通推進事業

## (3) 駐車場・駐輪場の整備

JR駅周辺の需要の高い地区を中心に整備した駐車場・駐輪場の適正な維持管理に努めます。

### 【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
厚狭駅南口駐車場の稼働率	日平均利用台数÷駐車枠数(300台)×100	51.0%	56.0%

### 主要事業

■ 厚狭駅南口駐車場整備事業

■ 駅前広場管理事業

#### (4) 広域交通網の整備

広域交通体系の充実を図るため、関係機関と連携して広域道路網の整備を推進するとともに、適正な市街地形成を図るため、関係機関と連携して都市計画道路網の整備を推進します。

主要  
事業

■ 県道整備事業

#### (5) 港湾施設の整備

利用促進重点港湾としての役割を果たすため、港湾管理者や関係機関と連携して施設の機能強化や長寿命化を推進します。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
小野田港の貨物取扱量	年間の輸出入等の総量	3,257,551t	4,000,000t

主要  
事業

■ 港湾施設整備事業

#### 関連する個別計画

- 山陽小野田<sup>りょう</sup>市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年度～）
- 山陽小野田市舗装個別施設計画（令和6年度～令和15年度）
- 山陽小野田市地域公共交通計画（令和5年度～令和9年度）
- 厚狭駅南口駐車場事業経営戦略（令和6年度～令和15年度）

基本施策

20

# 適正な土地利用の推進

あるべき姿

山陽小野田市都市計画マスタープランや用途地域<sup>※</sup>等に則し、適正な土地利用が行われた結果、各地域において快適で魅力ある住みよいまちづくりが進んでいます。

現状と課題

- 少子高齢化と人口減少により市街地の居住人口が減少し、市街地の効率性が低下しています。
- JR小野田駅周辺、JR厚狭駅周辺などの市街地について、低未利用地が多く、地域内の空洞化が進んでいます。

4年間の目標

- 都市機能を集約した持続可能なまちづくりの推進
- 人口誘導を図ることによる居住・定住人口の増加

目標指標

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
用途地域 <sup>※</sup> 内人口の割合	—	79.7%	82.0%

## 基本事業

### (1) 適正な土地利用の推進

山陽小野田市都市計画マスタープランの改定や立地適正化計画の策定等により、適正な土地利用の誘導を図ります。

#### 【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
用途地域※内人口の割合	—	79.7%	82.0%

#### 主要事業

- 土地利用規制等対策事業
- 都市計画基本方針策定事業
- 都市計画見直し事業
- 開発・建築指導事業

### (2) 市街地の整備

厚狭駅南部地区において、コンパクトなまちづくりを推進し、居住・定住人口の増加を図ります。

#### 【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和7年度)	中期目標値 (令和11年度)
厚狭駅南部地区の居住人口	—	532人	620人

#### 主要事業

- コンパクトなまちづくりモデル事業

### 関連する個別計画

- 山陽小野田市都市計画マスタープラン（令和2年度～令和11年度）
- 山陽小野田市国土強靱化地域計画（令和8年度～令和12年度）
- 厚狭駅南部地区まちづくり基本計画（平成29年～）



厚狭駅南部地区